

次にもうお二人、大田区ならではの男女の平等や新プランについて聞いてみました。一人目はプラン作りの上で、最終的な責任者である大田区男女平等推進課の課長、荒井さん。

そして、次に「エセナおおた」というセンターを拠点にプランを実行し、より良い結果を出すため区より運営を任されているエセナおおたのセンター長、牟田さんです。

ズバリ！あなたにとって男女共同参画とは？

荒井 人権のひとつだと思います。普段目に見えて顕著な差別はないように見えますが、追いつめられた時（災害や貧困など）に浮き彫りになりやすいので、そこを食い止められるようにすべきだと思いますね。

牟田 私にとっては男性も女性も子どもも含めてすべての人がハッピーになれるシステムだと思っています。

地域の特異性と男女共同参画推進について教えて下さい。

荒井 大田区は日本の縮図といわれる

ほど多様な地域があります。そのため、いろんな問題、課題があります。また、ものづくりの町である大田区は、町工場など企業や地域内できめ細かく男女平等について考えていく必要があると思います。



荒井さん
大田区役所内にある男女平等推進課の課長を10年より務める。

牟田 まる7年間男女共同参画の拠点である「エセナおおた」で活動をしていて実感することは、市民活動が活発でボランティア意識が高い大田区だからこそ、性別にかかわらずお互いを尊重し合う意識は芽生えやすいと感じています。

大田区は国際都市を目指し、男女共同参画をどう促えていますか？

荒井 諸外国との交流は男女平等への取り組みを知る良いチャンスだと思います。また、大田区区民活動支援施設「mix ミックス おおた」や「エセナおおた」でも国際化に関する事業を今後ぜひとも行ってほしい。

牟田 国際都市をめざすことによって男女平等の意識が高い北欧等の考え方を学ぶことができるチャンスだと捉えています。また今後増えることが予想される外国人の方々も差別を感じることもなく、居心地のよいおおたをめざすためにもプランをしっかりと実行していくことが大切だと感じています。

プランが絵に描いた餅にならない為に、行政、市民ができることは？

荒井 新しいプランの大きな特徴は重点項目と数値目標があるということだと思います。これにより、どこまで達成できているのか、区民の方たちの積極的なチェックが可能となりました。区民会議の内容も市民に公開しているので、ぜひ一緒に考えていけたらと思います。

牟田 行政側は職員会議等を通じて男女共同参画推進の必要性を真に理解することが重要だと考えます。市民側への働きかけは「エセナおおた」で私どもがしっかりと行います。プランは作っただけでは意味がなく、実行、評価し改善してこそプランを作った目的が達成されると思います。そのためには行政側、プラン実行者の「エセナおお

重点的な取り組みと数値目標

特に力を入れたい！ 重点事項(抜粋)

- 男性の家庭参画支援セミナーの実施
- 審議会などにおける女性委員の積極的任用
- 配偶者等からの暴力に関する講座の実施
- 男女平等に関する情報誌等による啓発

どの程度、達成？ 一目でわかる数値目標(抜粋)

家庭の場で、男女の地位が平等であると答える人の割合	27% ▶ 45%
DV被害にあり、相談した人の割合	29% ▶ 50%
審議会等における女性委員の割合	30% ▶ 40%
エセナおおたの認知度	32% ▶ 45%